

大久保 帝二 議員



問 IC周辺の雇用内容の把握は

答 入居する企業がわかり次第、求人情報を把握し、周知に努める

圏央道IC周辺の開発による企業誘致について、別の角度から町の考えを問う。

問 企業誘致に伴う雇用創出とその内訳は。

産業課長 進出が決まっているGLP(株)・アサヒロジステイクス(株)・清水建設(株)の3社からの情報によると、1,000人程度の雇用を想定している。しかし、この3社のうち2社については、入居するテナント企業によって、雇用人数や正規・非正規等の雇用形態、職種や男女比率等も変わるため、明確な求人情報の把握は困難な状況である。

問 災害時の避難場所としての対応は。

生活安全課長 GLP(株)から、河川の氾濫による水害の場合に、地域住民の避難場所としての施設活用を検討していると伺って

いる。現在、IC周辺区域近隣には避難場所である東小学校、ひばりの里、五霞ふれあいセンターがあるので、GLP(株)と避難場所の受け入れ体制の相互連携を図り、協定書の締結ができるよう進めていく。

問 建物周辺の安全管理は。

都市建設課長 進出企業3社は全てが物流企業で、24時間稼働

が見込まれる。町では業務用車両等の搬入・搬出は新4号国道から都市計画道路江川・幸主線の利用をお願いし、地域住民の安全を確保していく。

生活安全課長 町では平成28年度から4か年計画で20台の防犯カメラ設置を予定している。今後、進出する企業の防犯対策の状況に応じ設置の検討をする。



建築工事が進む物流施設

問 幸手・境線バイパスの新橋の施工状況は

答 今年度、埼玉県側に橋台、茨城県側に橋脚を設置予定

問 幸手・境線バイパスの新橋について。

都市建設課長 新橋の施工期間は協定締結の日から平成32年3月末日までの4か年度、工事費は13億6,000万円。概要については、片側1車線、橋長は100メートル、車道が片道3メートル、歩道が3.5メートルの両側歩道で、橋脚が2か所、街路灯については上下線3か所ずつで、合わせて6か所設置の予定。

町長 新橋完成後の現道、上船渡橋については、今、国が進めている中川河川改修事業の中で橋の補修、改修、歩道の整備等をやっていただけるよう県・国へ要望していく。



中川の新橋工事